第１章　市勢概要

1　位置及び地勢

真岡市は、栃木県南東部に位置し、東京から約 90km 圏内に属しています。市の北側は宇都宮市、芳賀町、市貝町、南側は茨城県筑西市、東側は益子町、茨城県桜川市、西側は小山市、下野市、上三川町に接しています。

市の区域は、東西約 15km、南北約 20km と南北にやや長く、面積は 167.34ｋ㎡あります。

関東平野北部に位置し、市の地形は全体的に平坦ですが、東部は八溝山地西麓の標高 200ｍ前後の丘陵地であり、中央部は何条もの台地が南北に伸びています。市の中央を五行川、東に小貝川、西に鬼怒川などの河川が流れ、その流域には肥沃な農地が広がり、冬季の日照時間も長く、日本一の生産量を誇る「いちご」をはじめとする農作物の生産に適した土地柄です。

江戸時代末には、「真岡木綿」の特産地として全国にその名が知られ、それを運ぶ鬼怒川の水運業も盛んでした。また、荒廃した農村の復興に尽くした「二宮尊徳」が在陣したゆかりの地でもあります。

現在は、北関東自動車道や鬼怒テクノ通りなどの広域的な道路網が整備され、約 100 社の企業が操業する大規模な工業団地を有する都市として発展しています。

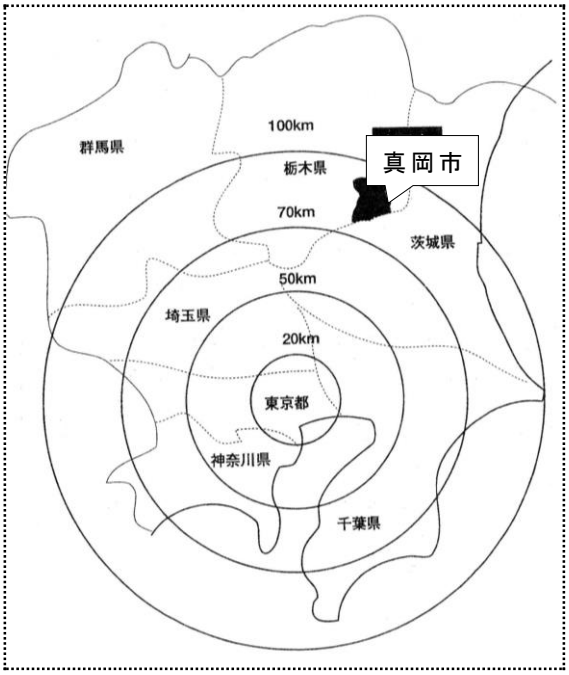
市役所の位置及び本市の面積等

所在地	真岡市荒町 5191 番地
東　経	140° 00′ 47″
北　緯	36° 26′ 25″
面　積	167.34ｋ㎡
東　西	14.9ｋｍ
南　北	19.4ｋｍ
海　抜	65.5m
人　口	77,495 人
世帯数	30,832 世帯

令和４年版真岡市統計書より

人口及び世帯数は、令和５年６月１日現在の推計人口調査値である。

本市の位置



2　都市計画の用途地域と面積

都市計画制度では、全市域が宇都宮都市計画地域に指定され線引きを実施しており、市街化区域の面積は 1,700.6ha（全体の約 10%）であり、市街化調整区域の面積は 15,033.4ha（全体の 90%）となっています。

面積:ha、構成比:%

区域	面積	構成比	用途地域	面積	構成比
市街化区域	1,700.6	10.2	第一種低層住居専用地域	232.8	13.7
			第一種中高層住居専用地域	237.1	13.9
			第二種中高層住居専用地域	127.1	7.5
			第一種住居地域	299.1	17.6
			第二種住居地域	100.3	5.9
			準住居地域	17.2	1.0
			近隣商業地域	71.5	4.2
			商業地域	38.2	2.2
			準工業地域	17.6	1.0
			工業地域	77.0	4.5
			工業専用地域	482.7	28.4
市街化調整区	15,033.4	89.8			
計	16,734.0	100.0			

令和4年版真岡市統計書より

3　地目別土地面積

本市の土地利用状況については、次の表のとおりです。農地が 5 割を占め、山林と合わせた緑は約 6 割となっていますが、減少傾向にあります。

面積:ha、構成比:%

地目	令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年	
	面積	面積	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
田	6,691	40.0	6,690	40.0	6,685	39.9	6,678	39.9
畑	1,851	11.1	1,842	11.0	1,832	10.9	1,829	10.9
宅　地	2,387	14.3	2,401	14.3	2,409	14.4	2,434	14.5
山　林	1,460	8.7	1,455	8.7	1,446	8.6	1,437	8.6
原　野	91	0.5	91	0.5	91	0.5	91	0.5
池　沼	28	0.2	28	0.2	28	0.2	28	0.2
雑種地	691	4.1	690	4.1	705	4.2	699	4.2
その他 ※	3,535	21.1	3,537	21.1	3,538	21.1	3,538	21.1
総面積	16,734	100.0	16,734	100.0	16,734	100.0	16,734	100.0

令和4年版真岡市統計書より（各年 1 月 1 日現在）

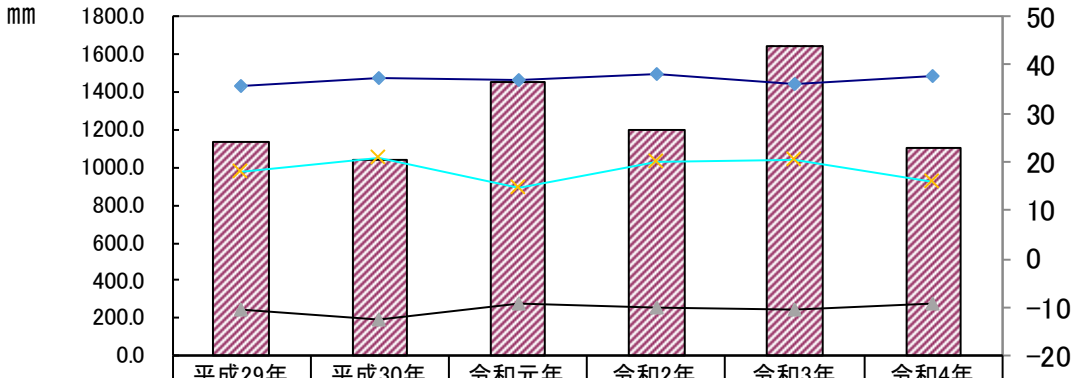
※　地目の「その他」は、河川や道路などの上記地目に含まれないものすべてとなる

4　気象

気象は、気温格差の大きい内陸型の気候となっています。年平均気温は 13～14 度前後、年間降水量は 1,000～1,500 ミリ程度で推移していますが、年平均気温の過去 30 年間の推移を見ると、１度ほど上昇しているのが見て取れます。

また、昨年一年間の月別の気温・降水量を過去 30 年間の平年値と比較しますと、月平均気温が、30 年間の平均値より高くなっています。また降水量は、月により平年値よりも極端に多かったり、少なかったりしているのが見て取れます。

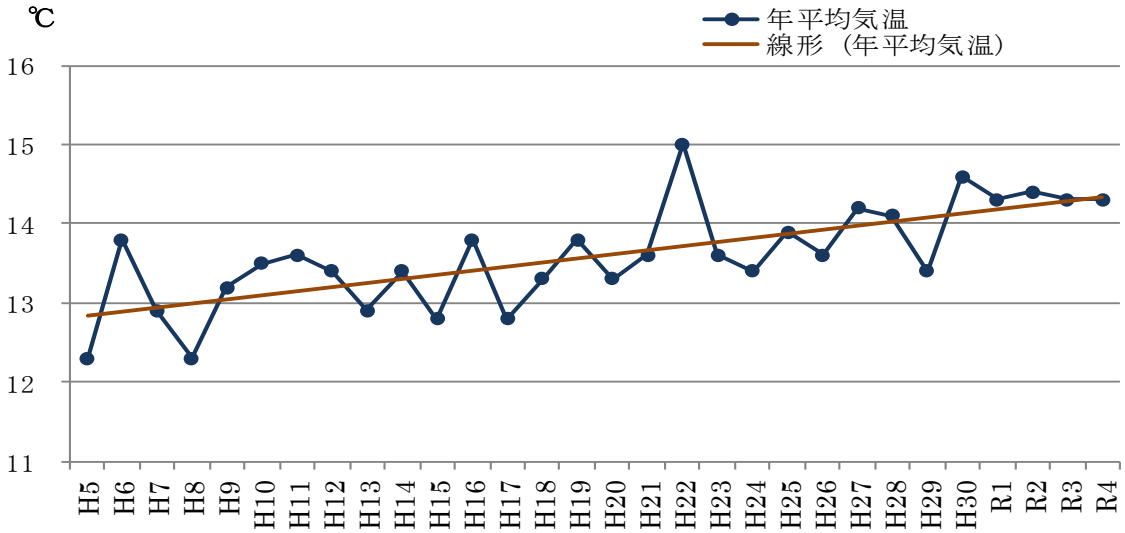
気温と降水量の経年変化



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
降水量	1139.5	1045.0	1458.0	1194.5	1648.0	1101.5
最高気温	35.5	37.2	36.9	38.2	36.0	37.6
最低気温	−10.3	−12.3	−9.3	−9.8	−10.5	−9.2
平均気温	18	21	14.5	20	20.5	16

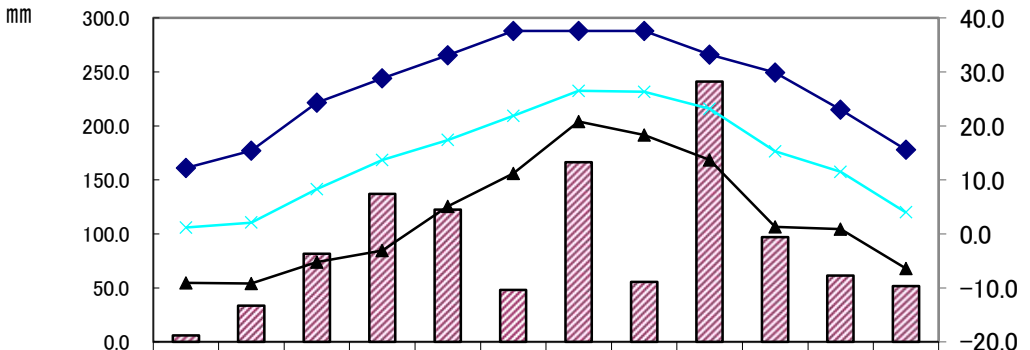
気象庁のデータをもとに作成（測定場所：下籠谷）

過去30年間（平成5年～令和4年）の年平均気温の推移



気象庁のデータをもとに作成（測定場所：下籠谷）

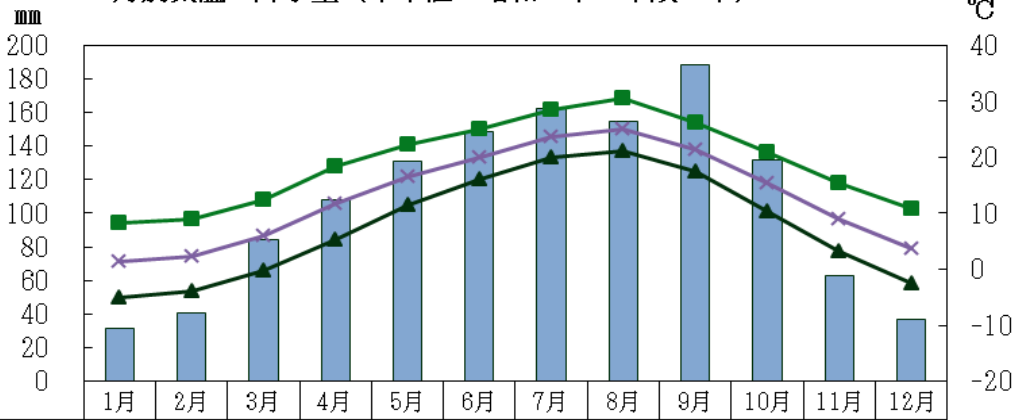
令和4年の気温と降水量



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	6.0	33.5	81.5	137.0	122.5	48.0	166.5	55.5	241.0	97.0	61.5	51.5
最高気温	12.2	15.4	24.3	28.8	33.1	37.6	37.6	37.6	33.2	29.9	23.0	15.6
最低気温	-9.1	-9.2	-5.2	-3.1	5.1	11.2	20.8	18.3	13.7	1.3	0.9	-6.4
平均気温	1.2	2.1	8.3	13.7	17.4	21.9	26.5	26.3	23.2	15.3	11.5	4.0

気象庁のデータをもとに作成（測定場所：下籠谷）

月別気温と降水量（平年値：昭和56年～平成22年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	31.4	40.6	84.1	107.9	131.0	148.7	162.3	154.9	188.8	131.7	63.0	36.8
日最高気温	8.2	9.0	12.4	18.3	22.3	25.0	28.6	30.5	26.3	20.9	15.5	10.8
日最低気温	-5.0	-3.9	-0.2	5.3	11.4	16.0	20.0	21.2	17.4	10.3	3.2	-2.5
平均気温	1.4	2.4	6.0	11.7	16.6	20.1	23.7	25.1	21.3	15.3	9.0	3.6